

ATMOVIE GLOBAL TRACK (実施団体:株式会社アットムービー)

目的・目標

日本の映画産業は製作委員会方式が主流で、確実な投資回収を優先しがちである。そのため、若手が自らの企画を携えて挑戦する機会は限られ、労務環境も脆弱、海外市場との接点も極めて少ないという三重苦が続いている。本事業は「座学+メンタリング+実践(海外渡航等)」による三位一体プログラムを通じ、自ら企画を立て推進できるプロデューサーマインドを備えた人材を育成する。グローバル基準の視座を持ち、国際共同製作や海外ピッチの現場で戦えるクリエイターを輩出し、次世代の日本映画エコシステムを構築する。

概要

国際的に通用する映像クリエイターを発掘・育成するために、5カ年計画を策定し、まず3年間で45名を選抜。自らの企画を携え、海外市場を視野に入れた実践的トレーニングを行う。国内外での国際共同製作・配信を当然の選択肢とし、Japan Pitch等を通じてグローバル展開を実践。5年後には日本発オリジナルIP3本を世界で配信・配給し、持続的収益と国際的評価を両立する製作モデルを確立する。

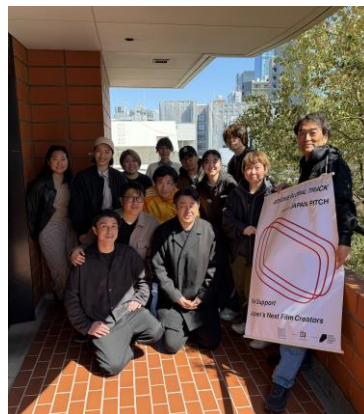
(区分・分野)
映画

(対象となる職種)
海外進出を目指すクリエイター

(育成人数)
45名/3年

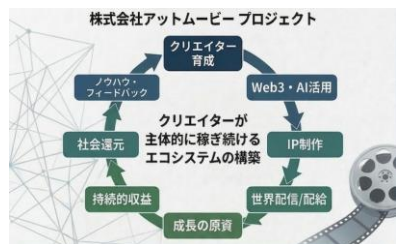
3年目までの取組

ATMOVIE GLOBAL TRACKは、世界で戦う志を持つ15名/年を選抜し、8か月の集中育成を実施。自らの企画を携え、英語などでピッチできる表現力を磨きながら、国際的な感覚と交渉力を養う。月1回のコーチングと専門メンタリングを通じて、自身の内にある創作意図を言語化し、作品に昇華する。製作実習ではパイロット版の制作を行い、Japan Pitchや国際映画祭併設マーケット(カンヌ、釜山など)での登壇を目指す。最終的に、国際共同製作に向けたファーストディールを成立させることを目標とする。



成果目標(見込)	目標値
コンテンツ創造・海外展開のための実践的な育成プログラムの開発・実装数	3年目: 18件 5年目: 30件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目: 30件 5年目: 45件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設等へ出品・参画し高い評価を受けた件数	3年目: 3件 5年目: 5件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目: 45人 5年目: 60人

5年目までの取組



3期合同で卒業生ネットワークを形成し、国際共同製作を前提とした継続的な製作体制を構築。海外バイヤー・投資家との協業等、多様なファイナンス手法を実験し、既存の製作委員会モデルを超える新しい映画製作スキームを確立する。海外配信契約5件を目標とし、実際の製作・配信により持続的収益を生む仕組みを実装。5年目には、労務モデルと資金スキームを体系化・公開し、日本のクリエイターが世界へ挑むためのルートとノウハウを社会に還元する。

中核となる指導者等

・森谷 雄 (株式会社アットムービー)

アットムービー代表。テレビドラマ「天体観測」、「深夜食堂」、映画「ミッドナイトスワン」など多数を手がける映像プロデューサー。



国際的な場での実践の取組例

カンヌ国際映画祭や釜山国際映画祭を始め、国際映画祭での積極的にピッチを行い、海外ネットワークを構築する。



ATMOVIE GLOBAL TRACK

国際映画祭 / 海外マーケット

最重点目標

カンヌ, 釜山

欧州・アジア

ベルリン(EFM), 香港(フィルマート), TIFFCOM,
ウディネ, 上海, 富川, ベネチア, サンセバスチャン

北米

SXSW, LA(AFM, Global Stage Hollywood), トロント

講師・メンター陣

森谷雄, 堤幸彦,
James Bang, Jenna Ku,
柳本千晶, 山口晋,
成瀬拓也, 川原卓巳 他

実務と教育のスペシャリストが参画

支援・連携先

AIM ENTERTAINMENT
(海外展開)

ウィルフォワード
(ビジネスストラテジー)

Lively
(コーチング/EAP)

育成対象者への支援

情報提供

教育

メンタリング

制作実習

ネットワーキング

海外渡航支援

マネジメント

実践的な出口戦略

ピッチ登壇

海外マーケットでの成果

国際共同制作